

作成日 2016年03月30日

改訂日 -

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名： オルガード C - 6 0 1

会社名： オルガノ株式会社

住所： 東京都江東区新砂 1-2-8

担当部門： 機能商品事業部

電話番号： 03-5635-5214

FAX 番号： 03-3699-7244

推奨用途及び使用上の制限： 密閉水系処理剤、冷温水系処理剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	爆発物	-
	可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	-
	エアゾール	-
	支燃性又は酸化性ガス	-
	高压ガス	-
	引火性液体	-
	可燃性固体	-
	自己反応性化学品	-
	自然発火性液体	-
	自然発火性固体	-
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	-
	酸化性固体	-
	有機過酸化物	-
	金属腐食性化学品	-
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	-
	急性毒性（吸入：蒸気）	-
	急性毒性（吸入：粉じん）	-
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分外
	皮膚腐食性及び刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	-
	皮膚感作性	-
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	-
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（骨、血液、気道）
	吸引性呼吸器有害性	-

環境に対する有害性： 水生環境有害性（急性） 区分外（魚）
 水生環境有害性（長期間） -
 オゾン層への有害性 -

* 上記の「 - 」は分類対象外又は分類できないことを示す。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告
 危険有害性情報：

- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれの疑い
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
 （骨、血液、気道）

注意書き： 【安全対策】 ・使用前に安全データシート(SDS)を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。
 ・指定された個人用保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 ・ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
 ・取扱い後はよく手を洗い、うがいをする事。

【応急措置】 ・吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には医師に連絡すること。
 ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
 ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。
 ・皮膚や衣服に付着した場合：多量の水石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
 ・ばく露又はばく露の懸念がある場合、異常がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 ・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には十分洗濯をすること。

【保管】 ・容器を密閉して涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
 【廃棄】 ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
 【その他】 ・目的用途以外に使用しないでください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物
 化学名又は一般名 等： 次の通り

成分名(別名)	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
水	85～95	H ₂ O	-	-	7732-18-5
モリブデン酸ナトリウム・2水和物	10	Na ₂ MoO ₄ ・2H ₂ O	1-478	公表	10102-40-6
その他	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。めまい、吐き気等の異常がある場合には速やかに医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服をすべて脱ぎ、皮膚を多量の流水および石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は速やかに医師の診断を受けること。
- 目に入った場合 : 直ちに充分な水で15分以上注意深く洗うこと。速やかに医師の診断を受けること。洗浄の際は瞼を指でよく開いて、すみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ水などを飲ませ、医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。意識がない場合は何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、泡、粉末等の消火剤が使用できるが、本品は不燃物であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 不燃物で燃焼しない。
- 特有の消火方法 : 火災発生場所周辺は関係者以外の立ち入りを禁止する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には容器および周囲に散水して冷却する。火元の燃焼源を断ち、消火剤で消火する。
- 消火を行う者の保護 : 適切な保護具を着用し、風上より作業を行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、風上より作業を行う。
- 保護具及び緊急時措置 : 作業の際には必ず保護具を着用する。8. 暴露防止及び保護措置を参照のこと。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が直接河川等環境中に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 漏出物はできるだけ回収し、回収しきれなかったものについては多量の水を用いて洗い流す。少量の場合はウエスに吸収させ焼却する。拭き取った箇所は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 眼および皮膚への接触を避ける。
- 局所排気・全体換気 : 屋外又は換気の良い区域で使用すること。屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
- 注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散等させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。皮膚や粘膜に触れたり眼に入らないように注意する。
- 安全取扱い注意事項 : 情報なし
- 保管
- 技術的対策 : 保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
- 適切な保管条件 : 容器は直射日光を避け、冷暗所に密封保管する。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	:	作業場の換気を行うとともに、局所排気装置を設置する。 作業場近くに安全シャワー、手洗・洗眼設備を設け、位置を明示する。
管理濃度	:	非該当
許容濃度	:	本製品としての情報なし。以下に含有成分の情報を示す。 A C G I H (2009)
保護具	:	手の保護具 : 不浸透性の耐アルカリ保護手袋 (ゴム手袋等) 目の保護具 : 保護ゴーグル 皮膚及び身体の一部の保護具 : 不浸透性の保護衣 (ゴム長靴、エプロン等)

9. 物理的及び化学的性質

外観	:	無色液体
臭い	:	特異臭なし
pH	:	8.1(原液、25℃)
融点/凝固点	:	データなし
引火点	:	なし
自然発火温度	:	データなし
燃焼又は爆発範囲	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
蒸気密度	:	データなし
比重	:	1.08(25℃)
溶解性	:	水に任意の割合で溶解
オクタノール/水分配係数	:	データなし
分解温度	:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常取り扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	:	情報なし
避けるべき条件	:	日光、熱
混触危険物質	:	情報なし
危険有害な分解生成物	:	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	:	本製品としてデータなし。 混合物としての製品のATEmix 計算値 >5000 mg/kg (経口) 混合物としての製品のATEmix 計算値 >5000 mg/kg (経皮) 以下に含有成分の情報を示す。 (モノテ 酸塩) LD50 = 4000 mg/Kg (ラット 経口) LD50 > 2000 mg/Kg (ラット 経皮) LD50 = 2.08 mg/Kg (ラット 吸入) LD50 = 344mg/Kg (マウス 腹腔)
皮膚腐食性/刺激性	:	本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (モノテ 酸塩) 発赤 (国際化学物質安全性カード(2004))
眼に対する重篤な 損傷/眼刺激性	:	本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (モノテ 酸塩) 発赤 (国際化学物質安全性カード(2004)) 眼に入った場合、粘膜を刺激する。
生殖細胞変異原性 (変異原性)	:	本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (モノテ 酸塩) in vivo マウスの優性致死試験及び小核試験において陽性 (化学物質安全性(ハザード)評価シート(2001)) (CER1)
発がん性	:	本製品としての情報なし

	以下に含有成分の情報を示す。 (モリブデン酸塩) 水溶性 Mo 化合物が A3 である。 ACGIH 化学物質と物理因子の TLVs & 化学物質の BEIs (2005 年度版 ; (社)日本作業環境測定協会)
生殖毒性	: 本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (モリブデン酸塩) ラットへの経口投与で生殖に影響が見られる。 (化学物質安全性(ハザード)評価シート(2001) ; CER I)
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	: 本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (モリブデン酸塩) 水溶性の Mo 化合物を吸入暴露すると呼吸器と結膜への刺激がある(化学辞典 ; 東京化学同人)。 気道、眼に刺激を与える(無機化合物・錯体辞典 ; 中原勝儼)。
特定標的臓器毒性 - 反復暴露	: 本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (モリブデン酸塩) ラットへの経口投与で骨の異常と体重増加、マウスへの経口投与で血清中の銅イオンの減少と体重増加抑制、被毛色素欠乏症、ウサギへの経口投与で貧血と関節、骨の異常、体重減少、死亡等が確認されている(化学物質安全性(ハザード)評価シート(2001) ; CER I)。 気道に影響を与えることがある(国際化学物質安全性カード(2004))。

12. 環境影響情報

生態毒性	: 本製品としての情報なし 以下に含有成分の情報を示す。 (モリブデン酸塩) ニジマス LC50(96h) = 800mg/L、キンザケ LC50(96h) 1000mg/L (化学物質安全性(ハザード)評価シート(2001) ; CER I) 高濃度のモリブデンを含む牧草を食べている地方の家畜、特に牛、豚にモリブデン中毒(タート病)が知られている。
------	--

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託処理する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	: IMDGの規則に従う。
航空規制情報	: ICAO / IATAの規則に従う。
国内規制	
陸上規制情報	: 特記事項なし。
海上規制情報	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空規制情報	: 航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当
輸送の特定の 安全対策及び条件	: 運搬に際しては梱包材料の破損のない事を確かめ、落下・転倒・損傷がない様に積み込み、荷くずれの防止を確実に行う事。
緊急時応急措置 指針番号	: 非該当

15. 適用法令

消防法	:	非該当
毒劇物取締法	:	非該当
化管法	:	第1種指定化学物質： モリブデン及びその化合物 = モリブデンとして 4.0% 第2種指定化学物質：非該当
労働安全衛生法	:	通知物質：モリブデン及びその化合物 = 10%
危規則	:	非該当

16. その他の情報

- ・本データシートは、製品の安全な取扱いのための情報として、現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- ・本データシートは、新たな知見に基づき改訂されることがあります。
- ・本データシートは、本製品用途における通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合は用途・用法に則した安全対策を実施してください。
- ・本データシートは日本国内向けに作成したものです。
日本以外で使用する場合は、その国での法律・規制等を確認してください。